

「まもる子」「わらう子」「助け合う子」 ～「ありがとう」があふれる学校～



時計台



佐世保市立日宇小学校
令和6年度 学校だより Vol.2
令和6年4月26日
文責 校長 永柄 孝知

1220枚と26992本

令和6年度がスタートして3週間、子供たちは、新しい学年・学級で友達や先生と一緒に元気に学校生活を送っています。特に5・6年生は、日宇小学校のリーダーとしての自覚と覚悟を高め、一生懸命に頑張っています。1年生も少しずつ学校生活に慣れ、2年生



は1年生のお兄さんお姉さんとして1年生の手本になっています。3年生や4年生も、それぞれの学年に応じた態度で、日々の授業や学校生活を送っています。授業参観でもその一端をみていただいたことと思います。お忙しい中、たくさんの参観本当にありがとうございました。

さて、題名に記した「1220枚と26992本」は、何の数字だと思われそうですが？これは、日宇1組で清掃ボランティアをされている方が、昨年2023年に大塔町踏切から新地橋までの川や道路で拾われたマスクとたばこの吸い殻の数です。もちろん、マスクや吸い殻だけでなくいろいろなものがごみとして大量に捨てられていたそうです。年間通しての数ですが大変な数です。これらが風雨で川から海に流れ、集まり、環境汚染の一因になっていることは、紛れもない事実です。私も朝から子供たちの登校を見守りつつ、ごみを拾っていますが、いろいろなごみが落ちています。世の中のモラル低下が心配です…。

「モラル」とは、日本語で倫理や道徳という意味です。似たような言葉に「マナー」がありますが、「マナー」は自分の行いを人がどう捉えるかという客観的なもので、「モラル」は、善悪の判断が個人的な価値観や信念によるものです。もし、無人島で1人で生活する場合は、他に人がいないのでマナーは必要ありませんが、モラルは必要です。そうでなければ自分の生活が立ち行かなくなるからです。

様々な価値観を認め、多様性が重要視される今の世の中ですが、このままモラル低下が続けば、環境問題に限らず、子供たちがこれから生きていく社会を、健全で素晴らしいものにするに決してつながらないのは想像に難くありません。だからこそ、ごみを道端や川に捨ててしまう価値観をもつ人を見て育った子供は、同じような価値観をもつということを、私は大人の一人として肝に銘じ、そのようなことをしないと考えています。

明日から大型連休がスタートします。健康で安全に気を付け、楽しい思い出を作ってほしいと思います。そして、「モラル」や「マナー」という言葉についても御家族で話題にいただければと思います。その中で、自分の中にある「ダメなことはダメ」という「答え」を行動に移す強い心を育てていただければと考えます。学校はこれからも子供たちに粘り強くかわり続け、「モラル」と「マナー」を子供たちの中に育てていきますので、どうかよろしくお願いいたします。



【確認事項】

連休中の過ごし方について、各学級で指導していますが、もし何かありましたら下記の緊急連絡用メール(Gメール)にてお知らせください。

本校ホームページも適宜更新していますので、御確認をお願いします。



← 日宇小学校ホームページ <http://www.city.sasebo.ed.jp/es-hiu/>

日宇小学校 緊急連絡用メールアドレス hiues6904@gmail.com →

